

事務事業名	農道保全対策事業負担金(池月・平成地区)		所属部	建設部	所属課	農地整備課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農業用施設整備G	課長名 保科 浩二
	施策名	〈34〉農業の振興		担当者名	菅澤 直樹	電話番号:0854-40-1068 (内線):2402
	目的対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		
	基本事業	〈097〉農業基盤の整備・保全		予算科目	0:1:3:0:0:6 0:5:6:5:3:7	大事業名 県営農道整備事業 中事業名 農道保全対策事業負担金
目的対象	担い手農家をはじめとする農家	意図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
農業者及び農道利用者	老朽化した設備を更新することにより安心安全な通行が図られる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H30 年度 ~ R6 年度 )	■ 内 容 : 農道の点検診断、機能保全対策としての更新整備、機能強化対策としての保全対策を行う。 ■ 負担率 : 国50%、県25%、市25%(基幹農道整備事業 保全対策型) ■ 事業箇所: 池月・平成地区/飯石広域農道(トンネル非常用設備の更新) ■ 総事業費: 308,400千円
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
■ 事業費調整(負担金支出) ■ 地元調整	特になし。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア トンネル調査	箇所	0	0	0	0
イ 実施設計	箇所	1	1	0	0
ウ 照明・防災施設更新	箇所	0	0	1	1
エ 事業進捗率(事業費)	%	3.1	3.7	47.8	99.7

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)	
■ 事業費: 136,000千円(県営事業) ■ 市負担: 34,000千円(負担率25%) ■ 充当起債: 過疎債	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	2,300	500	34,000	40,000
		その他	千円				
		一般財源	千円	75	0	0	0
事業費計		千円	2,375	500	34,000	40,000	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	農道保全事業中であり、具体的な成果は出ていない。
② 事業実施するうえでの課題	農道は農畜産物を輸送する重要な路線であるとともに農業集落を結ぶ生活道路である。橋梁・トンネルの点検を行い、個別施設計画を策定することで適正な管理が行え、如いては農業の生産性の向上や定住につながるため必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。